

令和元年度事業報告

I. 公益を目的とする事業

【公益事業番号1】：科学技術に関する研究活動の助成事業

1. 下中科学研究助成金

令和元年度・第58回下中科学研究助成金審査委員として金子明石、青木清、中尾征三、長尾篤志（新任）の4氏に委嘱し、審査委員長に金子明石氏を委嘱しました。

令和元年度の募集を6月下旬にホームページで告知し、周知方を都道府県および政令指定都市・主要都市教育委員会、教育事務所、全国新聞社・放送局、研究団体等に依頼し、申請の募集を行いました。

12月10日（火）に締め切り、応募総数は86件で、前年比13件減でありました。内訳は自然科学関係61件、人文科学関係25件であります。

浅香修治予備審査委員を中心に、長尾篤志文部科学省主任視学官など13氏に採点を依頼し、令和2年1月22日（水）、クラブ関東にて予備審査会を開催し、助成金交付候補30件を選定しました。同年1月31日（金）、クラブ関東にて本審査会を開催。浅香予備審査委員より予備審査の経過が報告され、熱心な審議の後、青木清審査委員長代行から予備審査で選定された候補30件を承認したい旨の提案があり、出席委員全員異議なくこれを承認可決しました。

なお、助成金の取得は叶いませんでしたが、優秀な研究と認められました13件の研究課題を次点とし、記念品（平凡社発行の白川静『字通』・『字統』・『字訓』等）を贈り研究助成の一助とすることとしました。

また、「2020年報」に研究発表執筆候補者として、取得者の中から正候補者5名、補欠候補者2名の推薦を得ました。

同年2月21日（金）に入選者の発表を行い、同年3月11日（水）に各入選者に対して科学研究助成金の送金及び次点者への記念品の発送を行いました。

募集にあたり周知方を依頼しました各所に対し、審査結果を送付し、各々において、発表周知方をお願いしました。

募集周知に関しましては下記の各社・団体からご協力をいただきました。

【募集関係】

- ①NP0シーズ＝市民活動を支える制度を作る会 ホームページに掲載
- ②産学通信社 「工業教育」令和元年7月号
- ③日本教育新聞 令和元年11月4日号

【結果発表】

①「全私学新聞」令和2年3月13日号

また、令和2年3月27日の定時理事会において下中科学研究助成金審査委員に蟻川謙太郎総合研究大学院大学先導科学研究科教授を選任しました。

2. 百科事典情報基盤形成助成金

助成金を得たプロジェクト（一般社団法人百科総合リサーチセンター他）について審査委員会および理事会で進捗状況の報告を受けました。

3. 『下中記念財団2019年度年報』（Annual Report 2019 of THE SHIMONAKA MEMORIAL FOUNDATION）の刊行

令和元年度の『下中記念財団年報』は、同年11月上旬に刊行、各方面へ寄贈しました。

『年報』には、平成30年度事業報告、令和元年度事業計画、及び平成30年度第57回下中科学研究助成金取得者の5名の研究発表を掲載しました。

『年報』の寄贈先は、内閣府、文部科学省関係者、全国教育委員会、政令指定都市及び主要都市教育委員会、全国主要マスコミ各社、国立国会図書館、前年度下中科学研究助成金取得者等であります。

【公益事業番号2】：教育映像資料の収集、貸出、閲覧および展示

1. ECアーカイブズ

- (1) 国立映画アーカイブと従前より進めておりましたEC映像フィルムの寄贈が正式に決定し、令和2年1月に全巻搬入が完了しました。
- (2) <エンサイクロペディア・シネマトグラフィカを見る>上映会は令和元年6月～11月にかけて4回開催しました。
- (3) 令和2年2月29日（土）に開催を予定していましたがECフィルム上映会＋パネルディスカッション『インド・ミティラー美術と女性一日印交流を深めようー』については、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大懸念の強まりから、関係各位の事前了解を得て、延期することとしました。
- (4) 本年度のECフィルムの利用、視聴に供した映像は15件でありました。

2. パール・下中記念館

- (1) 館内・外の整備工事については、昨年の箱根地方の豪雨被害の影響及び今春の新型コロナウイルス拡大等で進捗が遅れ、未だ工事中であります。今期の見学者（直接申込者）は10組84名でありました。
- (2) 「パール博士のことば」の今期の有料頒布は73部でありました。

3. 世界平和アピール七人委員会・丹波篠山市との協同事業

令和元年9月25日（水）、丹波篠山市民センターにて講演会を開催しました。宗教学者・島菌進世界平和アピール七人委員会委員が『戦争の記憶と悲しむ力の回復－戦後75年に向けて－』と題して講演を行いました。多数の来会者と熱心な質疑応答があり、盛会でありました。

【公益事業番号3】：科学技術の優秀な研究成果に対する表彰 表彰事業

5年毎の事業で、今期の実施はありませんでしたが、応募有資格者に「年報」・「周年記念誌」等を贈り、次回の応募を促しました。

II. 収益を目的とする事業

【収益事業番号1】：伝統芸術の貴重な映像及び資料の頒布

重要文化財『雅楽シリーズ』<DVD-RX>版全8巻の今期の売上は5セット・348,000円、バラ巻8枚・66,000円、合計414,000円でありました。

III. その他

- (1) 藤井卓也理事長が公益財団法人日本国際交流センターの活動部門である三極委員会・アジア太平洋委員に就任し、これにより従来年100万円の寄附金は免除となり、賛助会員の年額10万円の会費負担となりました。
- (2) 今期の寄附金は映像事業へ2名・20,000円、事業全般へ10名・27,310円、合計12名・47,310円でありました。ご寄附者へ感謝申し上げます。
- (3) 令和元年11月6日（水）、内閣府による立ち入り検査がありました。特別な問題はありませんでしたが、改善指摘項目についてはそれぞれ対応しました。
- (4) ホームページを一新し、利用者の利便性を図りました。

II. 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和元年5月23日 (定時理事会)	1. 平成30年度事業報告を併せた決算承認について 2. 新規事業追加による変更認定申請及び定款変更について 3. 理事1名辞任につき、理事候補者1名推薦について 4. 定時評議員会招集について 5. 業務報告について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認
令和2年1月29日 (臨時理事会)	1. 内閣府からの質問に対する当財団としての考え方及び回答について	全会一致で承認・可決
令和2年3月27日 (定時理事会)	1. 令和2年度事業計画及び収支予算について 2. 下中科学研究助成金審査委員1名選任について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和元年6月10日	1. 平成30年度事業報告を併せた決算承認について 2. 「定款」及び「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の変更について 3. 理事1名辞任につき、理事1名選任について 4. 令和元年度事業計画及び予算の報告について 5. 業務報告について	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認 全会一致で承認

(3) 下中科学研究助成金審査委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年1月22日 (予備審査会)	1. 本審査委員会へ推薦する助成金取得者・次点者・「年報」執筆者の各候補者の選定について	全会一致で承認・可決
令和2年1月31日 (本審査会)	1. 助成金取得者・次点者・「年報」執筆者の選定について	全会一致で承認・可決

2. 主務官庁（内閣府）との連絡事項

連絡年月日	連絡事項	履行状況
平成31年4月1日 令和元年8月27日 令和元年11月5日 令和2年2月1日	事業報告等の提出の案内（メール） 新規公益事業の変更認定申請 立ち入り検査 事業計画書等の提出の案内（メール）	令和元年6月28日提出 令和2年3月30日認定 指導事項につき対応 令和2年3月29日提出
他に毎月「公益認定委員会等だより」及び随時各種通知及びゼミナール案内等の配信を受けている		